

JAPAN ICOMOS / INFORMATION

INTERNATIONAL COUNCIL ON MONUMENTS AND SITES JAPANESE NATIONAL COMMITTEE 日本イコモス国内委員会

目次◆CONTENTS

- はじめに / 西村幸夫 01
From the President / Yukio NISHIMURA
- 英語サマリー / 内藤秋枝 ユミイザベル 02
Contents of this Volume in Brief (English only) / Yumi Isabelle NAITO-AKIEDA
- 2016年次第3回拡大理事会報告(9/10) / 山田幸正 03
The Executive Board Meeting 10th September 2016 / Yukimasa YAMADA
- 瀬の浦現地見学会報告(9/11) / 山田幸正 07
Report on the Japan ICOMOS Visit to the sites of Tomo-no-ura (9/11) / Yukimasa YAMADA
- 宗像・沖ノ島へのICOMOSミッション / 岡田保良 08
The ICOMOS Mission to Okinoshima Island in Munakata / Yasuyoshi OKADA
- 国際イコモスの2016年諮問委員会および年次総会が開催された / 西村幸夫 09
ICOMOS Advisory Committee Meeting and Annual General Assembly 2016 / Yukio NISHIMURA
- 英国グラスゴーで開催されたISCS年次総会参加報告 / 石崎武志 10
Report of the ISCS Annual Meeting Held in Glasgow, UK / Takeshi ISHIZAKI
- 文化遺産国際協力コンソーシアム設立10周年記念「文化遺産からつながる未来」 / 前田耕作 11
10th Anniversary Symposium of the Establishment of JCIC-Heritage "The Future that Cultural Heritage Leads to" / Kosaku MAEDA
- 筑波大学:自然と文化の連携のための国際人材育成ワークショップ / 稲葉信子 11
Tsukuba University: International Capacity Building Workshop for Nature-Culture Linkages in Heritage Conservation / Nobuko INABA
- 旧熊本貯金局(熊本市役所花畑町別館)の再生にむけて / 鯉坂 徹 13
Towards the Rehabilitation of the Building of the Former Kumamoto Savings Bureau (Kumamoto Municipal Office, Hanabata Annex) / Toru AJISAKA
- Modern World Heritage / Sheridan Burke 16
- 熊本地震その後の動き / 矢野和之 19
The Kumamoto Earthquake and Activities Undertaken Thereafter / Kazuyuki YANO
- ICOFORT年次会議報告 / 三宅理一 20
Report of the Annual Meeting of ICOFORT / Riichi MIYAKE
- Reconstructionについて
復元、復原、復興の語義について / 藤井恵介 20
Questions of Terminology / Keisuke FUJII
旧三菱一号館の復元 / 野村和宣 21
The Reconstruction of the Former Mitsubishi Ichigokan Building / Kazunori NOMURA
史跡等における歴史的建造物の復元的再建 / 矢野和之 22
The Reconstruction of Historic Buildings Located Within Historic Sites / Kazuyuki YANO
- 新入会員の声 / Voices from New Members 25
守田正志 / 佐倉弘祐 / 前田幸宣 / 萩原貞洋 / 水上 優 / 千葉一輝 / 辻 星野
- 事務局日誌 Diary 26

10期—4号



2016.12.5



前野まさる 画

はじめに
西村幸夫

2016年10月にトルコ・イスタンブールで国際イコモスの諮問委員会と年次総会が開催されました。詳しい議論の中身に関しては、本インフォメーション誌の記事として掲載していますが、会場となったイスタンブールの現況を少し。

出発前は、クーデター未遂事件、その前のアタチュルク空港のテロ事件からまだ3ヶ月余しかたっていないので、参加者の安全を心配して、会そのものの開催を延期する案も出ていたのですが、結果的にはまったく安全で、地元の準備態勢も万全だったので、じつに気持ちのいい会となりました。

多くの民衆がクーデター未遂事件の起こった7月15日夜に政府支持を表明して集結したタクシム広場に面した高層ホテルが会議の会場で、昨年の福岡での諮問委員会が会場をアクロスに集中させて成功したことに学んだのか、各会議の会場が同ホテルの中で完結していたため、会議運営がじつにスムーズでした。

また、タクシム広場から延びている新市街随一の目抜き通りであるイスティクル通りには昼も夜もあふれんばかりの人で賑わっていました。もちろん至る所に武装した警察官が配備され、警備にはあたっているのですが、地元の人々の生活はつい数ヶ月前に世界を震撼させる大事件が続けて起こった都市とは思えない活気あふれるものでした。西側からの観光客の回復がやや遅れてはいるようですが、平和と安全が都市生活にはなによりも大切であることを実感させられました。歴史遺産もそうした平和の中でこそ生きるものであり、平和のために私たちも必要な役割はきちんと担わなければならないと考えさせられた滞在でした。

● ICOMOSとは

ICOMOSは、1964年に採択された「記念物と遺産の保存に関する国際憲章（通称ヴェネツィア憲章）」を受けて1965年に設立された国際NGOです。第1回総会は1965年6月にポーランドで開かれました。ユネスコをはじめとする国際機関と密接な関係を保ちながら、文化遺産保存に関する理論、方法論、科学技術の研究・応用、またユネスコの世界遺産条約に関しては、諮問機関として、登録の審査、モニタリングの活動等を行っています。各国の文化遺産保存分野の第一線の専門家や専門団体によって構成されており、2012年10月時点で、参加国は133カ国を数え、会員は12,000人以上にのぼっています。28の国際学術委員会を通じて様々な専門分野、テーマ別の活動が行われており、文化遺産の価値の高揚のための重要な役割を果たしています。

日本イコモス国内委員会は1972年にブタペストで開かれた第3回イコモス総会で承認され、関野克博士がその委員長に指名されました。1979年に規約を採択し、イコモス本部執行委員会での承認を経て正式に発足しています。国内の文化遺産保存技術を高め、様々な情報を収集・交換し、後継者への技術的訓練を行う一方、各国の委員会やパリ本部と協力して、世界の文化遺産の保護のための国際協力活動を担っています。2016年11月現在、会員454名、維持会員15団体、団体会員3団体、学生会員3名によって構成されており、専門的な調査研究を行う13の小委員会を設置しています。年次総会のほか、年4回の理事会、研究会、来日外国人専門家との懇談会などの開催や会報の発行を行っています。



JAPAN ICOMOS/INFORMATION

Vol.10, No.4 5 December 2016

日本イコモス国内委員会 委員長 西村幸夫

事務局長 矢野和之 編集 山田幸正

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5 岩波書店一ツ橋ビル 13階

株式会社 文化財保存計画協会 気付

Tel & Fax: 03-3261-5303 e-mail: jpicomos@japan-icomos.org

<http://www.japan-icomos.org/>

JAPAN-ICOMOS National Committee Secretariat

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy

Hitotsubashi 2-5-5-13F, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0003, Japan

Tel & Fax: +81-3-3261-5303 e-mail: jpicomos@japan-icomos.org

<http://www.japan-icomos.org/>